

鉄道ピクトリアル

1968年 12月号 Vol. 18 No. 12

■表紙	「86最後の榮譽」	岸 幸男 撮影
■カラー頁	「埼玉へ地下鉄」(開通待つ6号線)	岸 幸男 撮影
■グラフ		
	丹後路のお召	西口 滋…11
43・10	生まれた列車	藤江幸太郎・岸義則・吉留正彦・山下隆 ・桜井良彦・小林庄三・鈴木宏・梅村俊樹…12
43・10	消えた列車・機関車	市栄正樹・岸義則・古川一郎 ・久保達彦・西口滋・掘井純一・伊藤恭平・平瀬金吾…14
	秋風落莫	岸幸男・藤井信夫・宮崎隆太郎…16
	話題の中の 柳津線開通	長田 寛…18
	雪の入換作業 (第12回鉄道写真コンクール作品)	大賀 寿郎…43
	12月の雪 (第12回鉄道写真コンクール作品)	伊深正孝・菅瀬一康…44
	構内追憶 (鉄道写真コンクール過年度作品)	伊藤昭・庄野鉄司 ・宮崎隆太郎・宮田晋・中島正樹…46
	11月15日の全通を待つ 都営地下鉄1号線(馬込車庫)	西野 保行…48
	初冬の常磐線(2頁大・第12回鉄道写真コンクール作品・解説82頁)	中村 敏郎…50
	新しく開発された 高速2軸貨車	村井 健三…52
	新鋭高速台車 "TR96"	国有鉄道提供…54
	北陸鉄道(終)	西脇 恵・金城 宏…56
	西ドイツの新型電車と国外の西ドイツ式電車	小林 茂…58
	トピックフォト(中国九州, 関西, 中部, 関東, 東北北海道だより)	…83
■本 文		
	今月の話題・こだま形生まれて10年	編 集 部…3
	赤字線問題「国有鉄道の場合」	守屋 八郎…4
	赤字線問題「民有鉄道の場合」	武藤 練治…8
	70年来待望の気仙沼線(柳津線)部分開通	長田 寛…19
	—10月1日ダイヤ改正初乗記—	
	総武本線初の薄暮急行「犬吠号」	白土 貞夫…21
	函館から盛岡まで—青函連絡「はつかり1号」	名取 暁…23
	みちのくの10月改正点描	和久田康雄…25
	九州特急「あさかぜ1号」	T 記 者…26
	交直切替方式について	安達 信夫…29
	曲線を高速で走るための車両	副島 広海…33
	書評④「新日本鉄道史(下)」	和久田康雄…36
	42年度国鉄旅客輸送実績	野田 勝治…37
	私鉄高速電車発達史 [20]	中川 浩一…39
	鉄道事始のはなし [23] 「食堂車のはじめ」	浦川 耿介…59
	東京都営地下鉄1号線西馬込=泉岳寺間開通	西野 保行…60
	西ドイツの路面電車 [終]	小林 茂…64
	私鉄車両めぐり [77] 「北陸鉄道」(終)	西脇 恵…70
	北陸鉄道ノート (3)	中川 浩一…77
	質問に答える	…78
	43年度鉄道ピクトリアル主要総目次	…79
	車両の動き	…80
	鉄道的话题	…82
	10月のメモ帳	…91
	読者短信	…92
	TTKだより・後部車から	…95



カット 土屋 昭雄 画

こだま形生まれて10年

昭和33年11月1日、東海道線にビジネス特急「こだま」号が登場してから、早くも10年を経過した。

こだまは、はじめて時速95キロの壁を破って110キロとし、東海道線を7時間30分から一気に6時間50分に縮め、1編成1往復を可能としたが、この時はじめて国鉄の車両に鮮やかな色彩が登場し、空気バネが実用化し、エアコンと窓の開かない静かな車内、車内電話などが実現したのである。

現在、国鉄は「特急時代」と呼ばれるほど、全国の主要線区に特急の走ってない所はないが、この特急時代の先端を切ったのが、このこだまであった。最初3編成24両だったこだま形電車特急は現在、東北・山陽・鹿児島・信越・中央などの各線に約660両も走っている。

東京一大阪間という長距離を電車化することには、国民の間はもちろん、国鉄の内部にも反対意見が強く、騒音がはげしく、振動が多い、旅のムードがないなどの反対論を押し切った当事者の慧眼には敬意を惜しまない。ふたを開けてみると、この電車特急は、あらゆる点ですばらしい成績をあげ、予期以上の好評を博したことは前述のとおりである。

この間幹線電車・寝台電車へと成長を遂げ、止まる場所のないまでに鉄道発展の礎石となった。このようにこだま形電車の歩んできた10年をふりかえてみると、まさに国鉄動力近代化のパイオニアであり、新しい旅客サービスに先べんをつけた画期的な列車といえることができる。

〔表紙〕「86最後の榮譽」

岸 幸男 撮影
88635〔福〕福井機関区'68.10.2
ミノルタオートコード ロッコールF3.5絞り8
タイム1/250 エクタクロームX

〔カラー頁〕「埼玉へ地下鉄」

(開通待つ6号線) 岸 幸男 撮影
6000系4連 志村坂下付近
'68.10.26

ミノルタオートコード ロッコールF3.5絞り8
タイム1/250 エクタクロームX

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tōkyō/Japan